

稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和6年度）【総括表】

◆基本方針別取組状況

【達成状況（自己評価）の目安】
◎：年度目標以上のものが達成できた ○：年度目標が概ね達成できた
△：年度目標の一部が達成できた ×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった

基本方針	重点取組項目		重点取組項目以外の取組項目数	主な取組内容（重点取組項目以外の取組も含む）	
	項目数	達成状況			
1 みんなの様々な居場所と健康づくり	11	◎	6	0	○各町内自治会館や小学校を活用して、いきいきサロンや子育てサロンふれあい食事サービス、地域イベント等を開催し、地域住民が集える居場所づくりを創出しました。 ○高齢者等に対し、健康体操や測定会、認知症に関する講座などを実施し、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みました。
		○	5		
		△	0		
		×	0		
2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	30	◎	14	0	○通学路や防犯パトロール、イベント等を通じて、住民同士のあいさつ運動の浸透に努めました。 ○交番と年1回意見交換会を実施。 ○買い物支援サービス「ドライブサロン」を7月から再開しました。 ○高齢者等に対してゴミ出しや買物のお手伝いなど、身近な住民同士の支え合い活動に取り組みました。
		○	16		
		△	0		
		×	0		
3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	8	◎	2	0	○地域住民に対して地域ごとの防災訓練の実施や防災講座を開催し、災害時に備えた防災に関する意識の向上に取り組みました。
		○	6		
		△	0		
		×	0		
今年度の振り返り	49	◎	22	0	○令和5年5月に新型コロナウイルスが5類に変更後、初めて年間を通して大きな制約なく活動を行うことが出来ました。自粛を余儀なくされた活動の再開について、概ねどの地区も目標通りに実施することが出来ました。
		○	27		
		△	0		
		×	0		

今後の課題と方針	<p>すべてのエリアにおいて、下記の課題について検討を行い、今後の活動継続に向けて関係団体・機関等が連携し取り組む必要があると考えられます。</p> <p>【課題①】</p> <p>・すべての活動を通じて、高齢化による担い手不足が顕著となっているため、新たな担い手の育成・確保に取り組む必要がある。</p> <p>【方針①】</p> <p>・区内にある中・高校、大学、専門学校等に対し、地域イベント（敬老会、夏祭り等）への協力依頼やボランティアの育成・確保に向けた講座を開催する。</p> <p>【課題②】</p> <p>・ゴミ出し・外出支援などの日常生活における生活課題や介護予防・孤立防止に向けた居場所づくりについて関係機関・団体と連携を図り、解決に向け取り組む必要がある。</p> <p>【方針②】</p> <p>・地区部会や民児協、町内自治会と連携してニーズを把握し、必要とされる活動について検討を行う。</p>
----------	--

◆区支え合いのまち推進協議会開催状況

回数	開催日	主な議題
第1回	令和6年9月6日（金）	（1）稲毛区支え合いのまち推進協議会委員長・副委員長の選任及び広報委員の選出について （2）令和5年度推進計画の取組み状況について （3）稲毛区支え合いのまち推進協だよりNo.31について
第2回	令和7年2月26日（水）	（1）令和6年度の取組み状況について （2）地区部会以外の委員所属団体等の活動状況について （3）推進協委員による発表 ①「こども子育て支援に特化した中間支援の取組みについて」 菊地 まり委員（稲毛・こどものWAねっとわーく） ②「災害対応について」 深味 肇 委員（千葉市ボランティア連絡協議会） ③「地域活動について」 工藤 和博委員（あんしんケアセンター園生）

◆区支え合いのまち推進協議会だより発行状況

号数	発行日	発行部数及び主な配布先
第31号	令和6年10月1日（水）	発行部数：5,250部 主な配布先：町内自治会、図書館、公民館、 コミュニティーセンター（市民センター）、あんしんケアセンター、いきいきプラザ（センター）

◆区の地域福祉に関する紹介事例等

<基本方針1> みんなの様々な居場所と健康づくり ④地域の資源を活かした居場所づくり

【稲丘地区部会】

コロナウイルスの影響により休止していた「ふれあい食事サービス」が3つの町内自治会館（稲毛東、稲毛台町、稲丘）において会食型式で再開しました。

最初は参加者にも緊張がみられ、参加者同士の会話が少なかったように思われましたが、食事後はレクリエーションを行うなど、参加者・ボランティアともに楽しい時間を過ごすことができました。



<基本方針2> 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり ⑥地域における見守り・支え合い

【山王地区部会】

同じくコロナウイルスの影響により休止していた「買い物支援事業」の再開に向け、地区部会、民児協、社会福祉法人と協議を行い、令和6年7月より再開しました。



稲毛区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和6年度）【個票】

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度						今後の方針及び 令和7年度の目標又は予定		
				目標又は予定	実 績 ※数値、状況はR7.3月末	連携団体等	振り返り（感想等）	重点項目 達成状況	課題と対応策			
小中台東地区部会	1 みんなの様々な居場所と健康づくり	○	② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	<いきいきサロン> ・予定箇所数 <u>12か所</u> ・開催予定数 <u>202回</u> （通年）	<いきいきサロン> ・実施箇所数 <u>13か所</u> ・実施回数 <u>155回</u> ・参加者数 <u>1,638人</u> （延べ）	・町内自治会 ・地区民児協 ・シニアリーダー ・あんしんケアセンター ・稲毛区健康課	○連携団体の呼びかけにより、サロンへの参加者が増加した。 ○新規サロンの参加者は増加傾向にある。	◎	【課題】 ○開催内容が単調になっている。 ○高齢化の進行により担い手が不足している。 【対応策】 ○開催内容を充実させるため、他エリアの情報収集を行う。 ○担い手確保に向け地域へ働きかけを行う。	【方針】 ○地域住民のニーズの発見に努め、連携団体と協力しながら活動に取り組みます。 【目標又は予定】 <いきいきサロン> ・予定箇所数 <u>12か所</u> ・予定回数 <u>202回</u> （通年） <福祉講座> ・予定回数 <u>9回</u> （通年） ・開催内容 介護・認知症予防		
<人口・世帯数>												
20,350人／9,519世帯												
<町内自治会数>												
34町内自治会												
<高齢化率>												
28.0%	2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	○	③ あいさつから始まる地域との関わり	○通学路や防犯パトロール、イベント等を通じて、住民同士のあいさつ運動の浸透に努めます。 ○小学校の登下校時のあいさつ運動（通年） 小中台小、園生小、柏台小、小中台南小、西小中台小 ○あいさつ標語の募集及び展示（9月～10月）	○登下校時のあいさつ運動の実施。（通年） ○あいさつ標語、優秀作品の展示「小中台東西社協まつり（10/27）」※小中台公民館にて一定期間展示	・町内自治会 ・地区民児協 ・小学校（PTA） ・青少年育成委員会 ・セーフティウォッチャー	○子どもたちが積極的にあいさつしてくるなど、あいさつ運動の意識が高まってきている。 ○大人の方の意識が低いように感じる。	◎	【課題】 ○学区が入り組んでいるため、地域の繋がりが薄い。 【対応策】 ○広報紙や自治会の掲示板を通じて周知を図る。	【方針】 ○登下校時の声掛けや地域イベント、広報紙等を通じて、あいさつ運動が地域へ浸透するように取り組みます。 【目標又は予定】 ○登下校時の通学路や防犯パトロールでの声掛け。（通年） ○標語作品の募集・展示（9月～11月）		
<地域の特徴> 稲毛の北西部に位置し、小中台町、園生町の一部、宮野木町の一部、長沼町の一部を含む比較的広いエリア。 集合住宅、戸建てが混在しており、旧来からの集合住宅は独居・高齢者世帯が増加し、高齢化率も急速に進んでいる。 近年、新規転入者が増加しているが、自治会への加入率が低下している。												
活動事業名			今年度実績	前年度実績	⑥ 地域における見守り・支え合い	○	○一人暮らし高齢者等に対して日常的な声かけやあんしんカードの配布、いきいきサロン、ふれあい食事サービスの参加者・利用者へ、安否確認等による見守り活動に取り組みます。 ○独居・高齢者世帯に留まらず、地域内で情報を共有しながら、見守りが必要とされる方に対し、一部の町内自治会において、地域の実情に沿った活動に取り組みました。 ○民生委員がエリア全体であんしんカードを配布。	・町内自治会 ・地区民児協	○連携団体との協力体制がスムーズに図れた。 ○お弁当を対象者の自宅へ配達した際、個人差はあるが、出てくるまでに時間がかかる。	◎	【課題】 ○現状のあんしんカード（A4判）は確認ができにくいため、改良を行う必要がある。 【対応策】 ○携帯用のあんしんカードを作成し、対象者へ配布する。	【方針】 ○住み慣れた地域で安心して暮らすために、見守り活動が必要とされる方への支援ができる地域づくりに取り組む。 【目標又は予定】 ○前年度同様、継続して活動を行います。
いきいきサロン			○	○								
子育てサロン			○	○								
散歩クラブ			-	-								
ふれあい食事			○	○								
広報紙発行			○	○								
V講座			○	○	⑧ 地域での福祉教育の普及・啓発	○	○福祉講座の企画や、近隣の小・中学校にボランティア募集を行い、地域イベントにおいてボランティア活動の実践を通じて福祉教育に取り組みます。 ○近隣の中学校教師とボランティア育成に関する打ち合わせを行った。	・町内自治会 ・地区民児協 ・小・中学校	○地域内の役割分担が明確でなかった。 ○イベント時に生徒自らボランティアの申し入れがあった。	○	【課題】 ○地域内の共通認識が図れていないため、活動実施に向け協議を行う必要がある。 【対応策】 ○地域内の情報共有と併せ、引き続き近隣の学校へ働きかけを行う。	【方針】 ○福祉への関心を高めるため、福祉講座やイベントでのボランティア活動を通じて意識の向上を図ります。 【目標又は予定】 ○サマーフェスタ（8月）小中台地域福祉交流館
見守り活動			○	○								
支え合い活動			○	○								
	⑨ 地域の情報の収集と発信	○	○連携する団体の会議等へ参加し、情報共有を行い、地域住民に対し広報紙等により地域住民に対して有益な情報の発信に取り組みます。 ・広報紙の発行 発行月 <u>4月・8月・1月</u> ・地区部会役員会 毎月第4土曜日（12月を除く） ・町内自治会との情報交換会 開催月 <u>7月・10月</u>	・広報紙の発行 <u>3回（4月・8月・1月）</u> ・地区部会役員会の開催 <u>12回（毎月1回 第4土曜日）</u> ※3月開催分含む ・町内自治会との情報交換会 <u>2回（7月・12月）</u>	・町内自治会 ・地区民児協 ・行政	○年間を通じて予定通りに情報の共有、発信に取り組めた。	◎	【課題】 ○町内自治会長が1年で交代する場合が多く、全員が揃わないため、周知を行う必要がある。 【対応策】 ○民生委員の協力を得て、地区部会活動の周知を町内自治会へ行う。	【方針】 ○連携団体と情報を共有し、広報紙等を通じて地域に向け情報発信を行います。 【目標又は予定】 ・広報紙の発行 発行月 4月・8月・1月 ・地区部会役員会 毎月第4土曜日（12月を除く） ・町内自治会との情報交換会 開催月 7月・10月			

稲毛区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和6年度）【個票】

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度						今後の方針及び 令和7年度の目標又は予定										
				目標又は予定	実 績 ※数値、状況はR7.3月末	連携団体等	振り返り（感想等）	重点項目 達成状況	課題と対応策											
山王地区部会	2 互いを知り、 活かし、支え 合い、助け合 い、地域づく り	○	③ あいさつから 始まる地域 との関わり	○登校時の通学路や防犯パトロールを通 じて、住民同士のあいさつ運動の浸透に 努めます。	・小学校のセーフティウォッチャーが登 校時に声掛けによるあいさつ運動を実 施。	・町内自治会 ・青少年育成委員会 ・学校	○防犯パトロール隊、セーフ ティーウォッチャーの協力の もと、あいさつ声かけ運動は 概ね順調に進んでいる。	○	【課題】 ○高齢化による担い手不足。 【対応策】 ○町内自治会、学校等へ協力依 頼を行う。	【方針】 ○連携団体と協力し、住民同士のあい さつ運動の浸透に努めます。 【目標又は予定】 ○登校時の通学路や防犯パトロールで のあいさつ運動。（通年）										
				・登校時のあいさつ運動の実施	・防犯パトロール時にあいさつ運動を実 施。															
				○	④ 地域のイベント などを通じた 多世代交流・ 共生のための 取組み	○連携団体主催のイベント等に協力し、 幅広い世代が参加交流できる場づくりに 取り組みます。	・町内自治会主催の夏祭りへの協力 （夏季） ・町内自治会主催の敬老会への協力 （9月） ・連携団体主催のイベント協力及び 参加（通年）				・町内自治会 ・学校 ・幼稚園・保育園 ・公民館 ・施設	○地域のイベントには子供か ら高齢者まで多くの方が参加 し、盛況だった。	○	【課題】 ○高齢化による担い手不足。 【対応策】 ○町内自治会、学校等へ協力依 頼を行う。	【方針】 ○連携団体と開催内容等について協議 を行い、幅広い世代が参加・交流でき る場づくりに取り組みます。 【目標又は予定】 ○連携団体と情報共有を図り、前年度 同様の活動を継続します。 ・夏祭りへの協力 ・敬老会への協力 ・連携団体主催のイベント協力					
						・夏祭りへの協力 ・敬老会への協力 ・連携団体主催のイベント協力														
						○	⑤ 地域で活動して いる人・組織同 士の連携・協力				○イベントや地域活動の際に情報共有を 行い、協力体制づくりに努めます。	・町内自治会主催の夏祭りへの協力 （夏季） ・町内自治会主催の敬老会への協力 （9月） ・連携団体主催のイベントや会議への参 加・協力				・町内自治会 ・地区民児協	○イベントや会議を通じて情 報共有ができた。	○	【課題】 ○高齢化による担い手不足。 【対応策】 ○町内自治会、学校等へ協力依 頼を行う。	【方針】 ○連携団体が実施する会議等へ参加 し、情報共有を図りながら連携・協力 体制の構築に努めます。 【目標又は予定】 ○前年度同様の活動を継続します。
											○連携団体主催のイベントや会議への参 加・協力									
		○	⑥ 地域における 見守り・支え 合い					○一人暮らし高齢者を対象として、訪問 や防犯パトロールを活用した見守り活 動。（通年）	○一部の町内自治会において、一人暮ら し高齢者等に対して安否確認等による見 守り活動に取り組みました。	・町内自治会 ・施設 ・地区民児協	○買い物支援を通じて、参加 者同士の交流や外出機会の創 出が図れた。	○				【課題】 ○高齢化による担い手不足。 ○買い物支援の参加希望者増加 に伴う対応。 【対応策】 ○町内自治会、施設へ課題解決 に向けた協力依頼を行う。	【方針】 ○見守りや生活支援が必要な高齢者等 に対し、連携団体と協力しながら活動 に取り組みます。 【目標又は予定】 ○活動に取り組む連携団体への支援。 ○ドライブサロンの実施方法について 地区民児協、施設と検討を行います。			
				○買い物物が困難なひとり暮らし高齢者を 対象とした買い物支援サービス「ドライ ブサロン」の再開。	○買い物支援サービス「ドライブサロ ン」を7月から再開しました。 ・実施回数 <u>37回</u> （参加者数） <u>133人</u> （延べ）															
					</															

稲毛区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和6年度）【個票】

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度						今後の方針及び 令和7年度の目標又は予定
				目標又は予定	実 績 ※数値、状況はR7.3月末	連携団体等	振り返り（感想等）	重点項目 達成状況	課題と対応策	
轟・穴川地区部会	1 みんなの様々な居場所と健康づくり	○	② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	<いきいきサロン> ・予定箇所数 6か所 ・開催予定数 107回（通年） <散歩クラブ> ・予定箇所数 1か所 ・開催予定数 12回（通年）	<いきいきサロン> ・実施箇所数 4か所 ・実施回数 47回 ・参加者数 279人（延べ） <散歩クラブ> ・実施回数 12回 ・参加者数 72人（延べ） ※回数、参加者数は助成対象外含	・町内自治会 ・地区民児協 ・シニアリーダー ・あんしんケアセンター ・稲毛区健康課	○コロナ以降、地域内のサロン数が減少している。	○	【課題】 ○開催内容が単調になっている。 ○高齢化の進行により担い手が不足している。 【対応策】 ○開催内容の検討と担い手確保に向け地域へ働きかけを行う。	【方針】 ・高齢者に対していきいきサロンを実施するなど、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みます。 【目標又は予定】 <いきいきサロン> ・予定箇所数 5か所 ・開催予定数 155回（通年） <散歩クラブ> ・予定箇所数 1か所 ・開催予定数 12回（通年）
<人口・世帯数>										
10,704人／5,752世帯										
<町内自治会数>										
15町内自治会										
<高齢化率>										
27.0%	2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	○	⑤ 地域で活動している人・組織同士の連携・協力	○地域のイベントなどを実施する際、相互に連携・協力し、地域活動に取り組みます。 ・各町内自治会主催の敬老会への支援。（9月） ・障害者施設への運営支援。（通年）	○各町内自治会主催の敬老会への支援。（9月） ○障害者施設への運営支援。（通年）	・町内自治会 ・地区民児協 ・施設 ・老人クラブ	○各町内自治会の現状を把握しながら、必要な支援を行った。	○	【課題】 ○地域の実情に沿った支援を行うため、連携団体との情報共有を行う必要がある。 【対応策】 ○関係団体間での話し合いの場を設ける。	【方針】 ○連携団体主催の会議等へ参加し、情報共有を図りながら協力体制の構築に努めます。 【目標又は予定】 ○各町内自治会主催の敬老会への支援（9月） ○障害者施設への活動支援。（通年）
<地域の特徴> 稲毛区の南東に位置する、轟町・穴川・穴川町で構成され、新旧の戸建て、集合住宅が混在しているエリア。公共交通機関の利便性も比較的高くエリア内には商業施設の巡回バスやタウンバスも運行している。 教育施設（大学）も多く存在し、文教のまちの呼称でも親しまれ、公共機関（教育施設、行政施設等）を内包する。										
	3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	○	⑪ 災害時に備えた必要な情報把握や防災講座等の実施	○町内自治会（自主防災組織）主催の防災訓練や避難所開設訓練への支援。	○町内自治会主催の避難所開設訓練への協力。（8/25）	・町内自治会 ・地区民児協 ・学校 ・区地域づくり支援課	○各町内自治会で継続的に取り組んでいる。 ○主催者側の負担が大きい。	○	【課題】 ○高齢化による担い手不足。 【対応策】 ○引き続き、防災訓練等を通じて災害時に備えていきたいと思っています。	【方針】 ○町内自治会（自主防災組織）主催の防災訓練や避難所開設訓練などを行い、防災に関する意識向上に取り組めます。 【目標又は予定】 ○町内自治会（自主防災組織）主催の防災訓練や避難所開設訓練への支援。
活動事業名				今年度実績	前年度実績					
いきいきサロン				○	○					
子育てサロン				○	○					
散歩クラブ				-	-					
ふれあい食事				-	-					
広報紙発行				○	○					
V講座				○	○					
見守り活動				○	○					
支え合い活動	○	○								

稲毛区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和6年度）【個票】

地区部会エリア			基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度					今後の方針及び 令和7年度の目標又は予定		
						目標又は予定	実 績 ※数値、状況はR7.3月末	連携団体等	振り返り（感想等）	重点項目 達成状況		課題と対応策	
稲毛地区部会			1 みんなの様々な居場所と健康づくり	○	① 地域の資源を活かした居場所づくり	○公民館等の公共施設や高齢者施設と連携して、地域の居場所づくりを創出します。	＜会場＞稲毛公民館 （開催内容） ・いきいきサロン ・子育てサロン ・ボランティア講座 ・ふれあい食事サービス ・地域イベント	・町内自治会 ・地区民児協 ・シニアリーダー ・あんしんケアセンター ・稲毛区健康課 ・施設	○子育てサロンは、10時～11時30分開催だが、10時30分や11時から参加する方がいるので、ゆっくり楽しんでいただくために、時間設定の変更に ついて検討したい。	◎	【課題】 ○子育てサロンは参加者のニーズに合った時間設定及び、おもちゃ・絵本の老朽化への対応 ○担い手の確保	【方針】 ○高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、地域住民へ働きかけると共に、新規の参加者が気軽に参加できるよう地域の実情に沿った活動に取り組みます。	
＜人口・世帯数＞						＜公民館＞ （開催内容） ・いきいきサロン ・子育てサロン ・ボランティア講座 ・ふれあい食事サービス ・地域イベント	＜高齢者施設＞稲毛一輪荘 （開催内容） ・いきいきサロン		【対応策】 ○終了時間の延長について検討。 ○おもちゃ・絵本は町内自治会をはじめ、地域の人に声かけを行い状態のよいリサイクル品の提供の協力をよびかける。 ○担い手においては、地域へ協力を呼びかける。		【目標又は予定】 ○公民館等の公共施設や高齢者施設と連携して、地域の居場所づくりを創出します。		
12,170人／6,188世帯						＜高齢者施設＞稲毛一輪荘 （開催内容） いきいきサロン							
＜町内自治会数＞				○	② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	＜いきいきサロン＞ ・予定箇所数 3か所 ・開催予定数 30回（通年）	＜いきいきサロン＞ ・実施箇所数 3か所 ・実施回数 28回 ・参加者数 241人（延べ）	・町内自治会 ・地区民児協 ・あんしんケアセンター ・稲毛区健康課 ・公民館 ・高齢者施設	○ふれあい食事サービスは諸事情により1回の開催となるが、その他の事業は概ね計画どおり進められた。	○	【課題】 ○担い手の確保	【方針】 ○地区部会が連携団体と協力し、いきいきサロンの内容について参加者のニーズを把握して実施すると共に、介護予防に関する情報を共有し、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みます。	
＜町内自治会数＞						＜ふれあい食事サービス＞ ・会場 稲毛公民館 ・開催予定数 2回（12月・3月）	＜ふれあい食事サービス＞ ・開催日 3/8 ・参加者数 27人						【目標又は予定】 ＜いきいきサロン＞ ・予定箇所数 3か所 ・開催予定数 30回（通年）
15町内自治会						＜散歩クラブ＞ ・開催予定数 1回（通年）	＜散歩クラブ＞ ・開催日 12/10 ・参加者数 13人						＜ふれあい食事サービス＞2回/年 ＜散歩クラブ＞1回/年
＜高齢化率＞				2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	○	④ 地域のイベントなどを通じた多世代交流・共生のための取組み	・敬老会 9月 ・夜灯し 11月 ・ふれあい広場 2月	・敬老会 9/16 （会 場）稲毛小学校体育館 （開催内容）小・中学校の生徒や様々な趣向を凝らしての演目を披露。 ・夜灯し 11/23・24 浅間通り商店街 ・ふれあい広場 2/22 （会 場）稲毛公民館 （開催内容）昔遊び、ゲーム、カレー作り等	・町内自治会 ・地区民児協 ・学校 ・公民館 ・幼稚園 ・青少年育成会	○敬老会が開催される9月は暑い ため、会場となる小学校まで来るのが大変。	◎	【課題】 ○敬老会の開催時期の検討、暑さ対策。	【方針】 ○地区部会が連携団体と協力し、開催内容・方法などについて協議を行い、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組みます。
活動事業名							・敬老会 9月 ・夜灯し 11月 ・ふれあい広場 2月	・夜灯し 11/23・24 浅間通り商店街 ・ふれあい広場 2/22 （会 場）稲毛公民館 （開催内容）昔遊び、ゲーム、カレー作り等	・青少年育成委員会	○敬老会が開催される9月は暑い ため、会場となる小学校まで来るのが大変。		【対応策】 ○敬老会は100人以上参加者がいるため、開催時期や暑さ対策は会場の学校と調整をしている。	【目標又は予定】 ・敬老会（9月） ・夜灯し（11月） ・ふれあい広場（2月）
いきいきサロン													
子育てサロン													
散歩クラブ													
ふれあい食事													
広報紙発行													
V講座													
見守り活動													
支え合い活動													
			○	⑤ 地域で活動している人・組織同士の連携・協力	○連携団体と地域イベント（敬老会やふれあい広場など）の開催に向け協力体制を構築します。	・敬老会 9/16 （会 場）稲毛小学校体育館 （開催内容）小・中学校の生徒や様々な趣向を凝らしての演目を披露。 ・夜灯し 11/23・24 浅間通り商店街 ・ふれあい広場 2/22 （会 場）稲毛公民館 （開催内容）昔遊び、ゲーム、カレー作り等	・町内自治会 ・地区民児協 ・学校 ・スポーツ振興会 ・青少年育成委員会	○敬老会が開催される9月は暑い ため、会場となる小学校まで来るのが大変。 ○各イベントは大変盛況だった。	◎	【課題】 ○地域内の情報共有を図り、イベントの内容を充実させたい。	【方針】 ○高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう地域住民へ働きかけると共に、連携団体が実施する会議等へ参加し、情報共有を図りながら連携・協力体制の構築に努めます。		
					・敬老会 9月 ・夜灯し 11月 ・ふれあい広場 2月					【対応策】 ○関係団体間での話し合いの場を設ける。	【目標又は予定】 ○連携団体と地域イベント（敬老会やふれあい広場など）の開催に向け協力体制を構築します。		
			○	⑥ 地域における見守り・支え合い	○いきいきサロン参加者に対し、参加呼び掛けなどの機会を活用して見守り活動に取り組みます。	○地域内で情報を共有しながら、見守りが必要とされる方に対し、地域の実情に沿った活動に取り組みました。	・町内自治会 ・地区民児協	○いきいきサロンなどの催し物の案内は、声かけ・訪問のため、階段を上るのがしんどくて来ない人もいる。 ○交流が図れている分新規の参加者が入りづらい様子がある。	◎	【課題】 ○いきいきサロンの会場が2階のため、階段を上るのがしんどくて来ない人もいる。 ○交流が図れている分新規の参加者については積極的な声かけを継続する。	【方針】 ○高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、地域住民へ働きかけると共に、連携団体と協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組みます。		
											【目標又は予定】 ○いきいきサロン参加者に対し、参加呼び掛けなどの機会を活用して見守り活動に取り組みます。		

稲毛区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和6年度）【個票】

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度					重点項目 達成状況	課題と対応策	今後の方針及び 令和7年度の目標又は予定	
				目標又は予定	実績 ※数値、状況はR7.3月末	連携団体等	振り返り（感想等）					
稲丘地区部会	1 みんなの様々な居場所と健康づくり	○	① 地域の資源を活かした居場所づくり	○各町内自治会館や小学校を活用して、地域住民が集える居場所づくりを創出します。 （実施内容） いきいきサロン、子育てサロン、ふれあい食事サービス	<会場>各町内自治会館（稲毛台、稲丘町、稲毛東） （開催内容） ・いきいきサロン ・子育てサロン ・ふれあい食事サービス ・地域イベント等 <会場>稲丘小学校校庭・体育館（開催内容） ・いきいきサロン	・町内自治会 ・地区民児協 ・小学校 ・施設（オリーブ轟）	○いきいきサロンとして「ホットカフェ」を新たに開始しました。 ○ふれあい食事サービスを再開し、3箇所で2回実施し、延べ95名の参加がありました。当初予定を上回る参加があり、好評でした。 上記のとおり集いの場を増やすことができました。	◎	【課題】 ○ふれあい食事サービスは、会食型が初めてであり、参加者にも緊張がみられ、参加者同士の会話が少なかったように思われる。 【対応策】 ○ふれあい食事サービスは食事後も双方向で会話が楽しめるよう内容を見直したい。	【方針】 ○各町内自治会館や小学校を活用して、地域住民が集える居場所づくりを創出します。 【目標又は予定】 ・いきいきサロン ・子育てサロン ・ふれあい食事サービス ・地域イベント等		
<人口・世帯数> 12,955人／6,179世帯												
<町内自治会数> 6町内自治会												
<高齢化率> 18.6%												
<地域の特徴> JRと京成の線路が通っており、駅周辺には店舗が立ち並んでいるが、それ以外は住宅街である。地域の中心に稲丘小学校がある。 高齢者が施設に入所し、空き家が増えている。 稲丘地区は、マンションが多く、住人は若い世代が多い。 小学校の学区が入り組んでおり、一部地域では、距離的に近い地域のイベントに参加しづらいエリアがある。												
			○	② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	<いきいきサロン> ・予定箇所数 <u>13</u> か所 ・開催予定数 <u>487</u> 回（通年） <散歩クラブ> ・予定箇所数 <u>1</u> か所 ・開催予定数 <u>12</u> 回（通年）	<いきいきサロン> （実施箇所数） <u>17</u> か所 （実施回数） <u>236</u> 回 （参加者数） <u>2,282</u> 人（延べ） <散歩クラブ> 未実施 ※回数、参加者数は助成対象外含	・町内自治会 ・地区民児協 ・シニアリーダー ・あんしんケアセンター ・稲毛区健康課	○概ね予定通り、いきいきサロンは実施することができ、体操や講座などのプログラムを通して普及・啓発することができました。稲毛東、ウェリス稲毛は今年度からシニアリーダー体操を開始しました。	○	【課題】 ○未実施の事業の再開に向け、地域で検討を行う必要がある。 【対応策】 ○事業再開に向け、連携団体との協議を行います。	【方針】 ○連携団体などと活動内容の検討、協議を行い、健康づくり、介護予防の普及・啓発のためのサロンづくりに取り組みます。 【目標又は予定】 <いきいきサロン> ・予定箇所数 <u>17</u> か所 ・予定回数 <u>456</u> 回（通年） <散歩クラブ> ・予定箇所数 <u>1</u> か所 ・予定回数 <u>12</u> 回（通年）	
	2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	○	④ 地域のイベントなどを通じた多世代交流・共生のための取組み	・各町内自治会敬老会（9月～10月） ・三色対抗競技会（10月） ・夏祭り（夏季） ・桜を見る会（3月） ・フェスティバル・文化祭（11/3） ・クリスマス会（12月）	・各町内自治会敬老会（9月～10月） ・三色対抗競技会（10/14） ・夏祭り（夏季） ・桜を観る会（3月） ・いなフェス（11/3）稲毛東 ・ビッグフェス（11月）稲毛台町 ・稲丘文化祭（11月）稲丘町 ・クリスマス会（12月）稲毛台町	・町内自治会 ・地区民児協 ・スポーツ振興会 ・小学校 ・企業	○各イベントとも参加者が多く、盛況で、多世代交流の機会になったと思われます。	◎	【課題】 ○フェスティバルは、文化の日開催のため、他の様々なイベントと重なってしまい、参加者数が想定よりややすくなかったように思われる。 【対応策】 ○実施日を1週間か2週間か後に設定し、参加しやすい日にち設定をしたいと考えます。	【方針】 ○幅広く各世代が参加、交流できる場づくりとしてイベントの実施は一番有効な方法と考え、年間を通してイベントを実施し、多世代交流の場を設けていきます。 【目標又は予定】 各町内自治会敬老会、三色対抗競技会、夏祭り、桜を見る会、フェスティバル・文化祭、クリスマス会の実施		
活動事業名 今年度実績 前年度実績												
いきいきサロン				○	○							
子育てサロン				○	○							
散歩クラブ				○	○							
ふれあい食事				○	○							
広報紙発行				○	○							
V講座	○	○										
見守り活動	○	○										
支え合い活動	-	-										
	3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	○	⑥ 地域における見守り・支え合い	○一人暮らし高齢者等に対し、いきいきサロンやふれあい食事サービスなどを通じて、声かけによる安否確認を行います。	○いきいきサロン、ふれあい食事サービスの参加者への声掛けや支援を必要とする方への訪問など、住民同士の見守り活動に取り組みました。 ○防犯パトロールをかねて見守り活動を実施しました。	・町内自治会 ・地区民児協 ・施設（オリーブ轟）	○防犯パトロールやいきいきサロンなど日頃の活動を通して見守りの基盤づくりは概ねできていると思われます。	○	【課題】 ○見守り活動を実施するうえで、マンションはセキュリティが厳しく入っていくに苦慮している。 【対応策】 ○連携団体と協力しながら、今後の対応方法について協議を行います。	【方針】 ○連携団体と協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組みます。 【目標又は予定】 ○一人暮らし高齢者等に対し、いきいきサロンやふれあい食事サービス、防犯パトロールなどを通じて、声かけによる安否確認を行います。		
				⑨ 地域の情報の収集と発信	○稲丘小学校避難所運営委員会との協働 ○公開講座、共同訓練による知識の習得、備えの場づくり。	<広報紙の発行> 2回（4月・11月） <地区部会役員会の開催> 偶数月第3土曜日	・町内自治会 ・地区民児協	○予定通り広報紙も発行し、役員会も開催でき、いきいきサロンの充実等につなげることができました。	◎	【課題】 ○回覧板や掲示版の周知では、見ていただけない方もいます。 【対応策】 ○ホームページ作成などオンライン媒体の活用を検討したいと考えています。	【方針】 ○地域を取り巻くネットワーク（町内自治会・民児協・学校・PTA・各種関係団体等）を活用し、より密な連携協力体制の構築を図ると共に、地域活動の情報発信に取り組みます。 【目標又は予定】 <広報紙の発行> ・発行予定月 7月・11月・3月 <地区部会役員会の開催> ・開催予定日 偶数月 第3土曜日、3月 第3土曜日	
	3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	○	⑪ 災害時に備えた必要な情報把握や防災講座等の実施	○稲丘小学校避難所運営委員会との協働 ○公開講座、共同訓練による知識の習得、備えの場づくり。	○稲丘小学校避難所運営委員会との訓練は、体育館が改修工事のため中止。 ○稲丘地区自治会合同で防火防災訓練を実施（2月23日）	・町内自治会 ・地区民児協 ・千葉市防災普及公社 ・稲毛消防署	○区役所主催の防災講座等にも積極的に参加し、知識の習得に努めました。	○	【課題】 ○日頃から備蓄品の点検を行い、各町内自治会でも防災訓練も実施している為、住民の意識も高いと思われます。 【対応策】 ○引き続き、防災訓練等を通じて災害時に備えていきたいと思っています。	【方針】 ○町内自治会を中心に防災訓練や避難訓練などの機会を設けると共に、防災に関する公開講座への参加を呼びかけ、住民一人一人の災害時に備えた意識の向上に努めます。 【目標又は予定】 ○稲丘小学校避難所運営委員会との協働。 ○公開講座、共同訓練による知識の習得、備えの場づくり。		
				⑫ 安全安心な地域づくりのための取組み	○地域住民の安全と防犯意識を高めるために防犯パトロールを行います。（通年）	○防犯パトロールを実施（通年） ○小学校の登校時の見守り活動（通年） ○警察（パトカーやバイク）にも協力を得て、協働で見守り活動をしている。	・町内自治会 ・地区民児協 ・青少年育成委員会 ・学校（PTA） ・警察	○防犯パトロールや登校時の見守り活動は、安定的に実施できています。	○	【課題】 ○防犯パトロールや小学校の登校時の見守り活動は、安定的に実施できています。 【対応策】 ○引き続き、実施していきます。	【方針】 ○高齢化に伴い、地域の関係が希薄となる中、地区部会が町内自治会や民児協、育成委員会、警察などと連携し、地域住民の防犯への意識を高めると共に、防犯パトロールの強化を行うなど、防犯活動に取り組みます。 【目標又は予定】 ○地域住民の安全と防犯意識を高めるために防犯パトロールと小学校の登校時の見守り活動を行います。	

稲毛区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和6年度）【個票】

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度						今後の方針及び 令和7年度の目標又は予定
				目標又は予定	実 績 ※数値、状況はR7.3月末	連携団体等	振り返り（感想等）	重点項目 達成状況	課題と対応策	
千草台中学校地区部会	1 みんなの様々な居場所と健康づくり	○	② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	<いきいきサロン> ・予定箇所数 5か所 ・開催予定数 208回（通年） <ラジオ体操> 毎週火曜日 10：30～ 千草台団地中央広場	<いきいきサロン> （実施箇所数）5か所 （実施回数） 59回 （参加者数） 698人（延べ） <ラジオ体操> 毎週火曜日 10：30～ 千草台団地中央広場 <認知症徘徊模擬訓練> 5/25（土） 10：00～ 千草台団地 ※回数、参加者数は助成対象外含	・町内自治会 ・地区民児協 ・シニアリーダー ・あんしんケアセンター ・稲毛区健康課 ・UR千草台	○町内自治会だよりやあんしんケアセンターのPRにより、サロンへの参加者数が増加した。 ○脳トレなど、認知症関連のリクエストが増加した。	◎	【課題】 ○担い手の確保 【対応策】 ○担い手づくりにおいては、町内自治会の人にもっと活動を知ってもらい協力を呼びかける。	【方針】 ○高齢者等に対していきいきサロンなどを実施し、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みます。 【目標又は予定】 <いきいきサロン> ・予定箇所数 6か所 ・予定回数 208回（通年） <ラジオ体操> 毎週火曜日 10：30～ 千草台団地中央広場
<人口・世帯数>										
8,228人／4,656世帯										
<町内自治会数>										
8町内自治会										
<高齢化率>										
33.7%	2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	○	④ 地域のイベントなどを通じた多世代交流・共生のための取組み	・敬老会 9月下旬 千草台中学校 ・千草台団地秋まつり 11月上旬 千草台団地中央広場 ・どんど焼き（正月行事） 1月中旬 千草台運動広場	<敬老会> 9/28 千草台中学校体育館 <千草台団地秋まつり> 11/3 千草台団地中央広場 <どんど焼き（正月行事）> 1/13 千草台運動広場	・町内自治会 ・地区民児協 ・あやめ台いきいきセンター ・稲毛区健康課 ・UR千草台 ・学校	○地域のイベントには子供から高齢者まで多くの方が参加し、盛況だった。 ○敬老会では多くの催し物で、参加した高齢者も楽しんでいた。	○	【課題】 ○担い手の確保 【対応策】 ○担い手づくりにおいては、町内自治会の人にもっと活動を知ってもらい協力を呼びかける。	【方針】 ○引き続き、既存の地域活動を継続するため、連携団体が、相互に協力し、開催内容を充実させるなど、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組みます。 【目標又は予定】 ・敬老会 9月下旬 千草台中学校 ・千草台団地秋まつり 11月上旬 千草台団地中央広場 ・どんど焼き（正月行事） 1月中旬 千草台運動広場
<地域の特徴>										
2,000世帯から成る千草台団地を中心に新旧の戸建て、マンションが立ち並び全8町内自治会で構成されているエリア。 バスが主な移動手段となり、JR稲毛駅、千葉駅、西千葉駅の利用が可能。駅までは距離があるが千葉都市モノレールも2駅が利用可能。 また、エリア内には生鮮食料品を扱う店舗は千草台団地内の1店舗。 前記の千草台団地の高齢化率は47%で稲毛区でも2番目に高く、エリア全体でも高い数値となっている。										
活動事業名										
今年度実績										
前年度実績										
いきいきサロン										
子育てサロン										
散歩クラブ										
ふれあい食事										
広報紙発行										
V講座										
見守り活動										
支え合い活動										
	3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	○	⑪ 災害時に備えた必要な情報把握や防災講座等の実施	・町内自治会主催の防災訓練への協力。 ・避難所運営委員会への支援。	<防災訓練>9/8 （会 場）千草台団地中央広場 <防災セミナーへの参加> 7月、10月	○町内自治会 ○地区民児協 ○あんしんケアセンター ○UR千草台 ○稲毛区地域づくり支援課	・行政主催の防災セミナーにも積極的に参加し、知識の習得に努めました。	○	【課題】 ・多くの方に参加してもらえないよう、地域の実情に沿った形の訓練内容を行う必要がある。 【対応策】 ・引き続き、防災訓練等を通じて災害時に備えていきたいと思います。	【方針】 ・地域の関係団体が実施する会議等へ参加し、情報共有を図りながら連携・協力体制の構築に取り組みます。 【目標又は予定】 ・町内自治会主催の防災訓練への協力。 ・避難所運営委員会への支援。

稲毛区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和6年度）【個票】

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度						今後の方針及び 令和7年度の目標又は予定
				目標又は予定	実績 ※数値、状況はR7.3月末	連携団体等	振り返り（感想等）	重点項目 達成状況	課題と対応策	
草野地区部会	1 みんなの様々な居場所と健康づくり	○	① 地域の資源を活かした居場所づくり	・町内自治会館等において、いきいきサロンや子育てサロン、地域カフェを実施するなど、住民同士が集える居場所づくりに取り組みます。	<会場>各町内自治会館 (開催内容) いきいきサロン、子育てサロン、地域カフェ、地域の空き家を活用した「バザーの開催」	○町内自治会 ○地区民児協 ○URあやめ台 ○スポーツ振興会 ○あんしんケアセンター ○稲毛区健康課	・高齢者の参加者が少ない。	◎	【課題】 ・高齢者がなかなか外に出てこない、地域のイベントに関心が少ないようです。	【方針】 ○いきいきサロンや子育てサロン、地域カフェ、子ども（地域）食堂を実施し、住民同士が集える居場所づくりに取り組みます。
<人口・世帯数>				(実施内容) ・いきいきサロン ・子育てサロン ・地域カフェ					【対応策】 ・回覧などでPRし、呼びかけを継続します。イベントのタイトルを工夫するなど、参加しやすい呼びかけを行います。	【目標又は予定】 ・いきいきサロン ・子育てサロン ・地域カフェ ・子ども（地域）食堂 ※令和mある7年4月開始
15,257人／7,833世帯										
<町内自治会数>										
20町内自治会										
<高齢化率>										
33.5%										
<地域の特徴>	2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	○	② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	<いきいきサロン> ・予定箇所数 14か所 ・開催予定数 284回（通年） <散歩クラブ> ・予定箇所数 3か所 ・開催予定数 36回（通年）	<いきいきサロン> ・実施箇所数 13か所 ・実施回数 269回 ・参加者数 2,483人（延べ） <散歩クラブ> ・実施箇所数 3か所 ・実施回数 141回 ・参加者数 824人（延べ） ※回数、参加者数は助成対象外含	・町内自治会 ・地区民児協 ・シニアリーダー ・あんしんケアセンター ・稲毛区健康課 ・あやめ台いきいきセンター	○参加者が固定していることで、新規の人が参加しづらい様子があります。	◎	【課題】 ○新規の方も参加しやすい環境づくりに取り組む必要がある。	【方針】 ○地区部会が連携団体と実施内容について検討を行い、いきいきサロン等において健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みます。
京葉道路の一部、穴川インターチェンジの一部をエリアに含み、概ねエリアの中央を走る国道16号線を境に東西へまがり、地域には古くからの戸建て、アパート群の中に新設のマンションが建設され、新旧住民が混在している。エリア内で一番世帯数の多いあやめ台団地は高齢化が急速に進行しており、住民の半数近くは高齢者となっている。									【対応策】 ○民生委員が声かけをして参加を促すようにしていきます。	【目標又は予定】 <いきいきサロン> ・予定箇所数 14か所 ・予定回数 274回（通年） <散歩クラブ> ・予定箇所数 3か所 ・予定回数 36回（通年）
活動事業名	今年度実績	前年度実績		○障害福祉サービス事業所「あやめ」利用者のウォーキングサポート（通年） ○敬老会（9月） ○NP0団体「地域清掃活動サポート」（通年） ○クリスマス会プレゼント作成	○障害福祉サービス事業所「あやめ」利用者のウォーキングサポート（通年） ○敬老会（9月） ○NP0団体「地域清掃活動サポート」（通年） ○クリスマス会プレゼント作成	・町内自治会 ・地区民児協 ・NP0 ・施設	○サポートしている方からは多く時間がとれるので大変との声もあります。		【課題】 ○担い手（サポーター）の負担が大きく、なり手が減少している。	【方針】 ○既存の地域イベントを継続するため、連携団体が相互に協力し、開催内容を充実させるなど、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組みます。
いきいきサロン	○	○							【対応策】 ○担い手確保に向け、地域へ働きかけを行う。	【目標又は予定】 ・障害福祉サービス事業所「あやめ」利用者のウォーキングサポート（通年） ・敬老会（9月） ・NP0団体「地域清掃活動サポート」（通年） ・クリスマス会プレゼント作成
子育てサロン	○	○								
散歩クラブ	○	○								
ふれあい食事	-	-								
広報紙発行	○	○								
V講座	○	○								
見守り活動	○	○								
支え合い活動	○	○								
	3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	○	⑩ 災害時に備えた必要な情報把握や防災講座等の実施	○独り暮らし高齢者、高齢者世帯を対象とした支援、支え合いを、町内自治会の実情に即した活動を進めます。	○一人暮らし高齢者等に対し、「安心登録カード」や「緊急医療情報キット」などによる住民同士の見守り活動に取り組みました。 また、支援が必要な高齢者等に対し、ゴミ捨てや草取りなどの生活支援活動に取り組みました。	・町内自治会 ・地区民児協 ・URあやめ台	○地域のつながりになっています。利用者の感謝がやりがいにつながっています。	○	【課題】 ○つながりが希薄になっているので、支え合い活動は必要であるが、担い手がいな状況です。	【方針】 ○高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、地域住民へ働きかけると共に、町内自治会や民児協などと連携、協力して、地域の実情に沿った支え合い活動の実施に向け取り組みます。
				○防災に関する意識の向上に向け、防災訓練等を行います。	○町内自治会（自主防災会）が地域住民に対して防災訓練や避難訓練を実施するなど、住民一人ひとりの災害時に備えた危機意識の向上に取り組みました。 ・防災講座への参加（10月） ・町内自治会ごとの防災訓練	・町内自治会 ・地区民児協 ・URあやめ台	○地域内の防災意識は高い。 ○各町内自治会で継続的に取り組んでいます。 ○主催者側の負担が大きい。		【対応策】 ○顔見知り関係の再構築が必要です。	【目標又は予定】 ○引き続き、防災に関する意識の向上に向け、防災訓練等を行う。
				○防災に関する意識の向上に向け、防災訓練等を行います。	○町内自治会（自主防災会）が地域住民に対して防災訓練や避難訓練を実施するなど、住民一人ひとりの災害時に備えた危機意識の向上に取り組みました。 ・防災講座への参加（10月） ・町内自治会ごとの防災訓練	・町内自治会 ・地区民児協 ・URあやめ台	○地域内の防災意識は高い。 ○各町内自治会で継続的に取り組んでいます。 ○主催者側の負担が大きい。	◎	【課題】 ○年々参加者が減少しています。高齢者は避難訓練で避難所まで歩くことが大変なためと恐れられます。	【方針】 ○町内自治会を中心とした防災訓練や避難訓練などの機会を通じて、講座を適用して住民に対して災害時における意識の向上に取り組みます。
				○防災に関する意識の向上に向け、防災訓練等を行います。	○町内自治会（自主防災会）が地域住民に対して防災訓練や避難訓練を実施するなど、住民一人ひとりの災害時に備えた危機意識の向上に取り組みました。 ・防災講座への参加（10月） ・町内自治会ごとの防災訓練	・町内自治会 ・地区民児協 ・URあやめ台	○地域内の防災意識は高い。 ○各町内自治会で継続的に取り組んでいます。 ○主催者側の負担が大きい。	◎	【対応策】 ○高齢者の参加が増えるよう、イベント要素を加えるなどの工夫を検討します。	【目標又は予定】 ○引き続き、防災に関する意識の向上に向け、防災訓練等を行う。

稲毛区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和6年度）【個票】

地区部会エリア			基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度						今後の方針及び 令和7年度の目標又は予定							
						目標又は予定	実 績 ※数値、状況はR7.3月末	連携団体等	振り返り（感想等）	重点項目 達成状況	課題と対応策								
緑が丘地区部会			2	互いを知り、 活かし、支え 合い、助け合 う、地域づく り	○	③ あいさつから 始まる地域との 関わり	○学校周辺及び通学路においてあいさつ運動を実施します。 また、防犯パトロールによる声かけを行うなど、地域内のあいさつ運動の浸透に努めます。（通年）	○セーフティウォッチャーによる、小学校（宮野木小・柏台小）の登下校時の声掛け。 ○町内自治会や老人会が地域の防犯パトロール。 ○柏台交番と年に1回意見交換会を実施。	・セーフティウォッチャー ・町内自治会 ・老人クラブ ・警察（交番）	○不審者情報もあるため、学校の方針が否かは不明であるが、あいさつをしても児童は反応がない状況です。 ○防犯パトロールは、地域での犯罪防止の抑止力になっていると感じます。	○	【課題】 ○セーフティウォッチャーを引退された方の後任が見つかず、また高齢化で人数が集まらず苦慮しています。 【対応策】 ○協力していただける方の呼びかけを継続します。	【方針】 ○児童・生徒への登下校時や防犯パトロール時のあいさつ運動を行うため、セーフティウォッチャーや町内自治会などの関係団体と連携を図るとともに、活動を通じて、住民同士のあいさつ運動に取り組めます。 【目標又は予定】 ○学校周辺及び通学路においてあいさつ運動を実施します。 また、防犯パトロールによる声かけを行うなど、地域内のあいさつ運動の浸透に努めます。						
＜人口・世帯数＞																			
21,814人／10,832世帯																			
＜町内自治会数＞																			
28町内自治会																			
＜高齢化率＞																			
32.3%																			
＜地域の特徴＞			○	⑤ 地域で活動している人・組織 同士の連携・協力	○地区連協議、情報交換会等への参加。（通年） ○各町内自治会主催のイベント（夏祭り）等への協力。（夏季） ○地域イベント（緑ンピック）への後援・参加。	○地区連協及び各町内自治会会議への出席。 ○緑ンピックへの参加（10/19） ○地区民児協との連携による、「子どもルーム」「アフタースクール」の児童との交流。 ○講座開催（10/29）在宅医療と緩和ケア	・町内自治会（地区連協） ・地区民児協 ・青少年育成委員会 ・スポーツ振興会 ※宮野木小、柏台小	○夏祭りは、盛況で地域のイベントとして効果がありました。 緑ンピックはキッズダンスや床体操を追加したことにより父兄に多く参加していただきました。	◎	【課題】 ○継続して活動をしていただける方が見つからず苦慮しています。 【対応策】 ○連携団体が協力して、協力していただける方の呼びかけを継続します。	【方針】 ○高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、地域住民へ働きかけると共に、町内自治会、民児協、学校など地域の関係団体が実施する会議等へ参加し、情報共有を図りながら連携・協力体制の構築に努めます。 【目標又は予定】 ・地区連協議、情報交換会等への参加。 ・各町内自治会主催のイベント（夏祭り）等への協力。 ・地域イベント（緑ンピック）への後援・参加。								
柏台、長沼町の一部、宮野木町の一部、園生町の一部、あやめ台の一部をエリアとしている。あやめ台団地内の一街区、二街区はあやめ台小学区、三街区は柏台小学校区と、団地内で学区が分かれており、旧来からの住民と、最近立ち始めた戸建て住宅に転入してくる新しい方が混在している。																			
活動事業名	今年度実績	前年度実績																	
いきいきサロン	○	○																	
子育てサロン	○	○																	
散歩クラブ	○	○																	
ふれあい食事	-	-																	
広報紙発行	○	○	○	⑥ 地域における 見守り・支え 合い	○見守り・支え合い活動を実施する町内自治会への支援。 また、活動の拡充に向け、未実施のエリアに対して声掛けを行います。	○連携団体と協力して、高齢者に対して安否確認の訪問やゴミ出し活動を行いました。 ○地域内4か所でラジオ体操を通じた見守り活動を行いました。 ○ファミリーハイツ「見守り会」、「ゴミ出し支援活動」	・町内自治会 ・地区民児協	○町内自治会ごとの活動が活発な印象を受けた。	◎	【課題】 ○高齢化による担い手不足。 【対応策】 ○連携団体が連携して、協力していただける方の呼びかけを継続します。	【方針】 ○地域のニーズを把握し、町内自治会や民児協などと連携・協力して、地域の実情に沿った活動が実施できるように取り組みます。 【目標又は予定】 ○見守り・支え合い活動を実施する町内自治会への支援。 また、活動の拡充に向け、未実施のエリアに対して声掛けを行います。								
V講座	○	○																	
見守り活動	○	○																	
支え合い活動	○	○																	

稲毛区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和6年度）【個票】

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度						今後の方針及び 令和7年度の目標又は予定		
				目標又は予定	実 績 ※数値、状況はR7.3月末	連携団体等	振り返り（感想等）	重点項目 達成状況	課題と対応策			
301（作草部・天台） 地区部会	2 互いを知り、 活かし、支え 合い、助け合 う、地域づく り	○	④ 地域のイベント などを通じた 多世代交流・ 共生のための 取組み	○夏休みラジオ体操大納会（8月） 都賀小学校 校庭	○夏休みラジオ体操大納会 8/25 都賀小学校校庭	・町内自治会 ・地区民児協 ・学校 ・スポーツ振興会	○小学校（PTA）やスポーツ振 興会から、多大な協力が得ら れた。	◎	【課題】 ○活動継続に向け、担い手の確 保を行う必要がある。	【方針】 ○地域のイベントを実施する際、連携 団体と協力し、活動に取り組みます。		
○社協まつり（敬老会）（11月） 都賀小学校				○社協まつり（敬老会） 11/2 都賀小学校体育館 ※都賀中学校生徒が前日準備の協力		○敬老会では、学校を始め地 域のお寺からも協力が得られ た。	◎コロナ以降、新たな実施形 態が地域でも認知してもらえ た。					
＜人口・世帯数＞												
10,979人／5,537世帯												
＜町内自治会数＞												
16町内自治会		○	⑥ 地域における 見守り・支え 合い	○高齢者等に対してゴミ出しや買物のお 手伝いなど、身近な住民同士の支え合い 活動に取り組みます。	○301（作草部・天台）地区部会支え合 いの会 （実施内容） ゴミ出し、話し相手、軽作業等 （利用件数）124件 （利用者数）延べ761人	・町内自治会 ・地区民児協 ・施設	○地域で受けた相談はすぐに 情報共有が図れているので、 活動がスムーズにできた。	◎	【課題】 ○活動継続に向け、担い手の確 保を行う必要がある。	【方針】 ○高齢者等に対してゴミ出しや買物の お手伝いなど、身近な住民同士の支え 合い活動に取り組みます。		
＜地域の特徴＞												
26.0%												
＜地域の特徴＞												
稲毛区の南西に位置する、中央区と 若葉区が隣接する新旧の戸建て・集合 住宅が立ち並ぶエリア。 商業施設も充実しており、公共交通 機関は千葉都市モノレールやバスの利 用が可能で、利便性は高い。 旧来からの戸建て住宅では高齢化が 進行し、独居・高齢者世帯が増加して いる。												
活動 事業名	今年度 実績	前年度 実績	○	⑨ 地域の情報の 収集と発信	○連携する団体の会議等へ参加し、情報 共有を行い、広報紙等により地域住民に 対して有益な情報の発信に取り組みま す。	○地区部会広報紙の発行 2回（10月・3月）	・町内自治会 ・地区民児協 ・施設 ・学校	◎	【課題】 ○広報紙の掲載記事について、 地域住民の興味を引くような内 容を検討する必要がある。	【方針】 ○連携する団体の会議等へ参加し、情 報共有を行い、広報紙等により地域住 民に対して有益な情報の発信に取り組 みます。		
いきいきサロン	○	○			・地区部会広報紙の発行 年2回（10月、3月）	○連携団体等の会議等への参加 （通年）	○予定通り実施できた。				【対応策】 ○地域の情報収集と併せ、内容 について連携団体と検討を行 う。	【目標又は予定】 ○地区部会広報紙の発行 年2回（10月、3月） ○連携団体等の会議等への参加 （通年）
子育てサロン	○	○			・連携団体等の会議等への参加 （通年）							
散歩クラブ	○	○										
ふれあい食事	－	－										
広報紙発行	○	○										
V講座	○	○										
見守り活動	○	○										
支え合い活動	○	○										
	3 災害などに 備えた安全・ 安心なまち づくり	○	⑪ 災害時に備えた 必要な情報把握 や防災講座等の 実施	○避難所運営委員会に協力して避難所開 設訓練や講座を実施するなど、地域住民 に対して災害時に備えた防災に関する意 識の向上に取り組みます。	○防災講座の開催 都賀公民館 7/7「地域の防災対策について」 講師：稲毛区地域づくり支援課 職員 9/8 公民館との共催事業 講師：千葉市防災普及公社 ○避難所開設訓練の実施 （8/25）都賀小学校、都賀中学校、都賀 公民館、千草台東小 ※各避難所の特性に合わせた訓練を実 施。	・町内自治会 ・地区民児協 ・学校 ・稲毛区地域づくり支援課 ・公民館	○防災に関する知識の向上に 向け、避難所運営委員会から 区地域づくり支援課へ防災講 座開催に向けて働きかけを 行った。	◎	【課題】 ○活動継続に向け、連携団体と のつながりや情報共有を行う必 要がある。	【方針】 ○地域住民に対して災害時に備えた防 災に関する意識の向上に取り組みま す。		
									【目標又は予定】 ○防災講座の開催（7月） ○避難所開設訓練の実施（11月）			

稲毛区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和6年度）【個票】

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度						今後の方針及び 令和7年度の目標又は予定
				目標又は予定	実 績 ※数値、状況はR7.3月末	連携団体等	振り返り（感想等）	重点項目 達成状況	課題と対応策	
緑・黒砂地区部会	1 みんなの様々な居場所と健康づくり	○	① 地域の資源を活かした居場所づくり	○公民館や公園などの地域資源を活用し、高齢者や子育て世代の居場所づくりに取り組みます。	○黒砂公民館（開催内容） ・いきいきサロン ・子育てサロン ・ふれあい食事サービス ・地域イベント等	・町内自治会 ・地区民児協 ・公民館 ・企業	○体操2か所が雨天中止となり、残念でした。	○	【課題】 ○特になし。	【方針】 ○活動の継続に向け、地域住民へ働きかけると共に、連携団体などと協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組みます。
				（実施内容） ・いきいきサロン ・子育てサロン ・ふれあい食事サービス ・地域イベント	○地域内公園 ※ZOZO広場含む（開催内容） ・ラジオ体操				【対応策】 ○順調にすすんでいるため、引き続き実施していきます。	【目標又は予定】 ・いきいきサロン ・子育てサロン ・ふれあい食事サービス ・地域イベント
				＜人口・世帯数＞						
				7,855人／4,364世帯						
				＜町内自治会数＞						
				6町内自治会						
				＜高齢化率＞						
				20.2%						
				＜地域の特徴＞						
				JR線を境に、南に走る国道357号線までの緑町、黒砂、黒砂台1丁目～2丁目をエリアとし、中心を京成線が東西に走っている。 文教施設（大学）が隣接していることもあり、エリアには多くの学生が居住している。						
活動事業名	今年度実績	前年度実績								
いきいきサロン	○	○								
子育てサロン	○	○								
散歩クラブ	－	－								
ふれあい食事	○	○								
広報紙発行	○	○								
V講座	○	○								
見守り活動	○	○								
支え合い活動	－	－								
2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	○	③ あいさつから始まる地域との関わり	○通学路や学校周辺、地域内であいさつ運動に協力し、子どもから大人までが顔なじみになるよう関係づくりに取り組みます。（通年）	○登下校時のあいさつ運動に協力。	・町内自治会 ・学校（PTA） ・セーフティーウオッチャー	○地域内でのあいさつ運動が浸透している様子がうかがえます。	○	【課題】 ○一部のエリアにおいてはあいさつ運動の浸透が不十分なため、連携団体と協力して取り組む必要がある。	【方針】 ○連携団体等と協力し、あいさつ運動の拡充を図るため、地域イベントや広報紙を通じて、あいさつ運動が地域へ浸透するように取り組むと共に、担い手確保に向け、見守り隊の募集を行います。	
								【対応策】 ○該当エリアの掲示版などを活用し、活動についての周知をはかりたいと考えます。	【目標又は予定】 ○通学路や学校周辺、地域内であいさつ運動に協力し、子どもから大人までが顔なじみになるよう関係づくりに取り組みます。	
3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	○	④ 地域のイベントなどを通じた多世代交流・共生のための取組み	○幅広い世代が参加できる「福祉バザー」や「納涼祭」「敬老会」等、住民同士が交流できる場づくりに取り組みます。	・納涼祭 8/24 ・敬老会 9月～10月 ・福祉バザー 11/23	・町内自治会 ・地区民児協 ・公民館 ・企業	○福祉バザーが盛況でした。	○	【課題】 ○町内自治会が解散したエリアの高齢者への対応が難しいと感じます。	【方針】 ○既存のイベントを継続するため、各種活動団体が協力し、開催方法を検討するなど、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組みます。	
			・納涼祭（夏季） ・敬老会（9月～10月） ・福祉バザー（11月）			○納涼祭は、役員の高齢化に伴い、開催規模を縮小したが、そのなかでも工夫し、とても盛況でした。		【対応策】 ○該当エリアの掲示版などを活用し、活動についての周知をはかりたいと考えます。	【目標又は予定】 ・納涼祭（夏季） ・敬老会（9月～10月） ・福祉バザー（11月）	
3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	○	⑫ 安全安心な地域づくりのための取組み	○自転車に防犯ステッカーを掲示するなど、地域内の防犯活動に取り組みます。	・民生委員による声掛け等での安否確認。 ・一部の町内自治会において防犯パトロール。（週2回） ・防犯ステッカーの掲示。	・町内自治会 ・地区民児協	○掲示している防犯ステッカーが古くなっているものがあるので更新できると良いと考えます。	○	【課題】 ○地域みまもり隊の再検討。 ○町内自治会が解散したエリアの高齢者への対応が難しいと感じます。	【方針】 ○高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、地域住民へ働きかけると共に、連携団体と協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組みます。	
			・高齢者等への声かけによる安否確認 ・防犯パトロール ・「防犯ステッカー」を防犯活動協力者の自転車に掲示。			【対応策】 ○地域見守り隊の協力に向け地域へ働きかけを行う。		【目標又は予定】 ○自転車に防犯ステッカーを掲示するなど、地域内の防犯活動に取り組みます。 ・高齢者等への声かけによる安否確認 ・防犯パトロール ・「防犯ステッカー」を防犯活動協力者の自転車に掲示		

稲毛区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和6年度）【個票】

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和6年度						今後の方針及び 令和7年度の目標又は予定
				目標又は予定	実 績 ※数値、状況はR7.3月末	連携団体等	振り返り（感想等）	重点項目 達成状況	課題と対応策	
小中台西地区部会	2 互いを知り、 活かし、支え 合い、助け合 う、地域づく り	○	③ あいさつから 始まる地域との 関わり	○防犯パトロールを兼ねたあいさつ・声 かけ運動の拡充を図るとともに、地域の イベントや広報媒体等を通じて、あいさ つ運動が地域へ浸透するよう取り組みま す。 ・ 防犯パトロールでの声掛け ・ あいさつステッカーの掲示 ・ 登下校時のあいさつ運動 ・ あいさつ標語の募集	○町内自治会主体の防犯パトロール ○町内掲示板へあいさつステッカーの掲 示 ○登下校時のあいさつ運動 （園生小、小中台小、柏台小、小中台南 小） ○あいさつ標語の展示 16作品（10/27～31 小中台公民館）	・ 町内自治会 ・ 地区民児協 ・ 学校（PTA） ・ セーフティウォッチャー ・ 公民館	○防犯パトロール隊、セーフ ティウォッチャー、あいさ つ声かけ運動は概ね順調に進 んでいる。	○	【課題】 ○ステッカーが色落ち、劣化し ているものが多い。 【対応策】 ○4・5月で新しいステッカーと 貼り換える。	【方針】 ○防犯パトロール強化、「あいさつ声 かけ運動」を住民がもっと周知できる よう取り組みます。 【目標又は予定】 ○ステッカーを多くの人の目に触れる ように配布・掲示します。
＜人口・世帯数＞										
21,755人／10,505世帯										
＜町内自治会数＞										
16町内自治会										
＜高齢化率＞										
23.6%										
＜地域の特徴＞		○	④ 地域のイベント などを通じた 多世代交流・ 共生のための 取組み	○イベントを企画・実施する他、自治会 単位で開催する祭やイベントなどを通じ て住民同士が交流できる場づくりに取り 組めます。 ・ 夏祭り（夏季） ・ 小中台東西社協まつり （10月下旬） ・ クリスマス会（12月） ・ 茶話会（3月）	・ 夏祭り（7～8月） ・ 小中台東西社協まつり 10/27 小中台公民館 来場者 171人 ・ 茶話会 3/9 小中台公民館 参加者 227名	・ 町内自治会 ・ 地区民児協 ・ 商工会 ・ 学校	○各自治会で夏祭り、納涼祭 が実施され、地域の活力が感 じられた。 ○社協まつりは健康テレビ ゲームを活用したことで、子 どもから高齢者まで楽しめ た。	○	【課題】 ○社協まつりは、中高生の参加 が少なかった。 【対応策】 ○ボランティア等で参加を呼び 掛ける。	【方針】 ○地域の方々にイベントを周知しま す。 【目標又は予定】 ○広報活動に力を入れる。
JR稲毛駅周辺を中心として、戸建て と大型集合住宅が混在する小仲台1丁目 から9丁目のエリア。 駅周辺のマンションには若い世代が 多く居住しているが、駅から距離の ある旧来からの集合住宅では高齢化が 進行している。										
活動 事業名				今年度 実績	前年度 実績	・ 町内自治会 ・ 地区民児協 ・ シニアリーダー	○災害時の見守り体制は整い つつあるが、コロナ禍以来、 平常時の見守りが少し希薄に なっている。		○	【課題】 ○高齢化率の高い地域と低い地 域の活動の落差がある。 ○ふれあい食事サービスの利用 者が少ない。 【対応策】 ○平常時の見守り強化
いきいきサロン	○			○	○	○	○			○
子育てサロン	○			○						
散歩クラブ	-	-								
ふれあい食事	○	○								
広報紙発行	○	○								
V講座	○	○								
見守り活動	○	○								
支え合い活動	○	○								